

☆『ものがたりの家 吉田誠治 美術設定集』 吉田誠治

「住んでみたい!」と思わせる、物語の舞台となりそうな空想の家ばかりをまとめた本! 美術設定集といふとなんだか難しそうですが、眺めて楽しいアート絵本です。悪戯好きな橋塔守、階段堂書店、厭世的な天文学者の住処、凝り性な時計師、寡黙な整備士の別荘、几帳面な魔女の家、雪国の草屋根の家、忘れられた孤児の城、夢想家のツリーハウス、水車小屋のリンゴ酒、憂鬱な灯台守、竜使いの郵便局、籠居中の情報屋、機関車乗りの姉妹、失われた書物の図書館、巨岩と暮らす家、水没した都市の少女、森の中の診療所、カカオの木の本ツリーハウス、臆病な鬼の隠れ家、国境近くの塔の家、座敷童の棲む離れ、羊飼いの見張り小屋、偏執的な植物学者の研究室、寂しがりな幽霊の邸宅、若い発明家の風車小屋、人形に魅入られた夫人の屋敷…。ページをめくるたびに、新しい物語が動き出します。

『恋とか愛とかやさしさなら』 一穂ミチ

『ツミデミック』で直木賞受賞1作目! 「プロポーズされた翌日、恋人が盗撮で捕まった」<sup>にいか</sup>。まだ半人前ながら親友の結婚式のカメラマンの大役を務めた新夏<sup>にいか</sup>は、別の用事を済ませ、写真の整理のために帰ろうとしていたところ、二次会に向かおうとしていた恋人の啓久と東京駅で待ち合わせをすることに。駅前の広場で結婚式の前撮りをしているカップルが2・3組いるので、東京ステーションホテルで式を挙げないと撮影できないことを啓久に教えると、いきなり「ここで前撮りは無理だけど、俺と結婚してくれる?」とプロポーズされた。同僚の結婚式の高揚感か、見知らぬ裕福なカップルに当てられたのか。それでも、幸せかも、と臆面なく思えるほどにはうれしかったのだ。その翌日にすべてを台無しにするような知らせを耳にするまでは。なんと、よりもよってその翌日の通勤電車で啓久は女子高生のスカートの中を盗撮して捕まっていた! 男ってそういうものなのだろうか? 新夏はまったく理解ができなかった…。「恋とか愛とかやさしさなら、打算や疑いを含んでいて当然で、無垢に捧げすぎれば、ときに愚かだ幼稚だと批判される。なのに『信じる』という行為はひたすらに純度を求められる。一度でも、わずかでも損なわれたら、二度と元には戻らない」。

## 『さくらのまち』 三秋 穂<sup>すがる</sup>

映画化もされた『恋する寄生虫』の著者待望の新作！ プロンプター。自殺阻止者のことだ。自殺ハイリスク者の身近な人間のなかでもっとも適性のある人物が<システム>によって任命される。自殺ハイリスク者の善き友人としてふるまい、自殺を阻止するのがその義務だ。つまり「サクラ」である。中学1年生のときにヘマをして、クラスから総スキャン<sup>すみか</sup>を食らって滅入っていた俺に、唯一声をかけてくれたのが澄香だった。教室の華とも言える彼女が、手を差し伸べてくれたのだ。たまたま家が近所だったので、ふたりでいっしょに登校するようになった。2年生も同じクラスで、文化祭で澄香と主役をさせられるようになる。劇の中心となっていた鯨井も加わり、仲よし3人組になった。放課後はいつも鯨井の家のガレージでダベった。3人は親友だった。そして、俺は澄香との出会いを「一生もの」と悟っていた。今後の人生において、これほど俺を幸せにできる何かが見れることは、たぶんもう二度とないと。「本当は、俺のことなんて全然好きじゃなかったんだろ？」「うん。全然好きじゃなかった」。澄香も鯨井もプロンプターだったのだ。そして、数年後、澄香が自殺したという事実を知らされる…。

## 『森にあかりが灯るとき』 藤岡陽子

吉川英治文学新人賞と未来屋小説大賞をW受賞した『リラの花咲くけものみち』がNHKでTVドラマ化が決まっている著者の新作は、感動の介護士小説です。「排泄物や吐瀉物、そういうのにまみれながら時には利用者に暴言を吐かれて……。これが一生続くんなら死んだほうがましかなと思ったりしています。福見さんの考えるいい介護士って、なんも文句言わずにどんなことも我慢する介護士ってことですか？」9歳のときに出会った親友とコンビを組んでお笑い芸人を目指していたが芽が出ず、相方が「YouTuberに転身しよう」と言ってきたのと、三十歳を前にして見切りをつけるのことで、芸人として生きる道を諦めた星矢は、特別養護老人ホーム「森あかり」で介護士となった。介護士の仕事がイヤだとは思っていなかったが、手を抜いて怒られるならともかく、一生懸命やっているのに責められるのに「やってらんね……」と思ってしまう。「年を取って体が思うように動かなくなり、人の手助けが必要となって、それで施設に入ったとしてもそれは絶望ではない。施設での暮らしも悪くない、そう思ってくれる老人が増えたら、生きることが楽になるだろう」。木が鬱蒼と生い茂る真っ暗な森をふらふらと歩く老人を照らす、目が覚めるほどの強い光、それが介護士。

### 『富士山』 平野啓一郎

映画『**本心**』も好評だった著者の、なんと十年ぶりの短編集！「**齊藤息吹**が、その日、池袋のマクドナルドでアイスコーヒを飲んでいたのは、**たまたま**だった」。梅雨入り前の猛暑日の日曜の午後、息子を塾の模試会場に迎えに行ったところ、時間を間違えて一時間早く来てしまったことに気づいた。時間を潰すために、かき氷屋に入ろうとしたところ、順番待ちの客が7組もいるというので諦めた。どこも混んでいたの、マクドナルドでアイスコーヒを飲む羽目になった。すると、隣に座った中年女性二人が大腸内視鏡検査でポリープを3個も取ったという話をしているのが気になった。息吹は検査を受けることを決めた。結果、ポリープが二つ見付きり切除した。ポリープは初期の初期のガンだった。医者に言わせれば、「健康意識の高い方が、適切なタイミングで検診を受けたお陰で、ガンを早期に発見でき、大事に至らなかった」ということだ。息吹は、「かき氷屋が満席だったかどうかで、生きるか死ぬかが決まる人生って、何なんだろう？」と思う。そして、数日後に、**たまたま**かき氷屋の席が空いていて、絶品の宇治金時を食べた記憶をはっきりと思い出して、戦慄する。「かき氷をたらふく食べた記憶のほうが、マクドナルドでアイスコーヒを飲みながら隣の会話を聞いていた記憶よりも、詳細で、具体的で、生々しかったのだ」。

### 『小鳥とリムジン』 小川 糸

小鳥の生活は、コジマさんの専属ヘルパーとして、コジマさんの家に通い、コジマさんの身の回りのお世話をする、それがすべてだった。お弁当屋の「リムジン弁当」の店先でその香りを吸い込むことが、ささやかな喜びだった。高校1年のときに自らの意志で家を出て、児童養護施設で暮らすようになった小鳥は、八方塞がりでもうにもならなかったところに、コジマさんからの手紙を受け取った。コジマさんは自分の実の父親らしい。彼は最終的には死に至る進行性の深刻な病を患っていて、近い将来確実に寝たきりになるのだそう。手紙では、自分の介護をお願いできないだろうかと言われていた。未来がまったく見えなかった小鳥は、その申し出を受け入れた。そして、彼が亡くなるまでその生活を続けた。彼が亡くなり、小鳥は初めてリムジン弁当の扉を開いた。そこで、生涯のパートナーの理夢人と出会う…。「理夢人と出会ってから、世界を柔らかいと感じる場面が多くなった。私はそれまで、世界は屈強な鋼はがねみたいなもので作られていると思い込んでいた。だから、触れたら危険だと思って、なるべく体を小さくして、注意しながら生きてきた」。

### 『ナチュラルボーンチキン』 金原ひとみ

「仕事と動画とご飯というルーティン。それが私で、私の生活だ。自分には何もない」。タイトルは、生まれながらのチキンという意味。「一人きりでご飯も仕事も過不足もなく、波風の立たないこの生活を始めて十年が経つ。趣味もなければ特技もなく、仕事への矜持もなく、パートナーや友達、仲のいい家族や親戚もペットもなく、四十五にして見事に何もない」。毎日、肉野菜炒めのバリエーションを食べ続けるほどルーティンを愛する浜野は、ふだんスケボー通勤をしていて、捻挫をして休み続けている平木の自宅を訪問する。パリピで楽しいことばかりしている20代の彼女は、ホストクラブに20万円も落としていたのだ。いつのまにか彼女は浜野をランチに誘う仲になっていた。「まあ毎日つまらないですね。でも私は敢えてつまらないを選び取り、つまらないを志し、つまらないを極めているので全く問題ありません。私はこのつまらないと自らの意志で同居しているんです。このつまらないだけが、私を傷つけず私を愛さずとも容認し、放っておいてくれるからです」という浜野に、平木はつまらないから卒業させる場所へと連れ出すのだった…。

### 『楽しく学べるはにわ図鑑』 かゆみ歴史編集部 編

はにわがキています！ 東京国立博物館の特別展「はにわ」と東京国立近代美術館の「ハニワと土偶の近代」の2大展覧会が東京で開催されるからです。この本は、そんなはにわにわかに興味を持ったひとにもぴったりの楽しくはにわを学べる本。犬はあるけどねこのはにわはないとか。笑っているはにわもあるとか。鶉飼いを表しているはにわもあるとか。はに～。

…そのほかにも、「またね」

大好評のうちにTVアニメ終了！

かと思ったら、第2期制作発表！

それを祝して『時々ボソッとロシア語で  
デレる隣のアーニャさん』全巻入荷!!!

『ぼくは明日、昨日のきみとデートする』

著者の人気シリーズ堂々完結！

『スペシャルリテケーキ王子の名推理 7』、

ヒグチユウコさん新刊絵本！

『ギュスターヴくんとまぼろしのどうぶつ』

などなどなど！

—— ふれあいフェスタ、おつかれさまでした！ 大収穫でしたね♪ では、図書館で。

